

学校教育目標 自ら考え 豊かにかかわり合う 未来へつながる子どもの育成

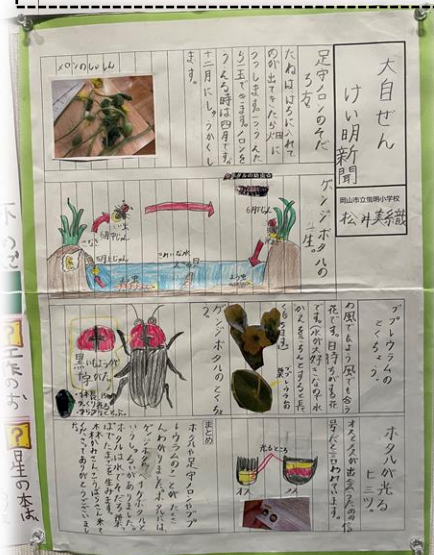
## 表現したよ

## 新聞づくりコンクール・さん太タイムス意見文 ・第34回吉備路文学館「少年少女の詩」

本校では、「表現力」の育成を指導の重点の一つとして掲げ、今年度も「多様な表現・発信ができる子ども」になってほしいという願いをもって、教育活動に取り組んできました。授業や行事の振り返りを大切にすること、学習活動に新聞づくりを取り入れること、日記や自学での振り返り、また、外部講師の中尾先生による詩の授業も行いました。GT（ぐんぐんタイム）では、4～6年生が、山陽新聞のさん太タイムスを使って読解力や作文力の向上を目指してきました。

子どもたちの作成した新聞や詩、意見文をコンクールなどに出品したところ、入賞や新聞掲載されるという大変うれしい知らせが届きました。ここに紹介します。よくがんばりました。

第14回おかやま新聞コンクール【新聞づくりの部】入選 ＊さん太ホールに展示されました。



3年 松井美織さん



4年 野上奏音さん



5年 坪井花穂さん

2024年11月30日付山陽新聞 滴一滴「16歳未満のSNS禁止」を読んで感じたことを文章にした、4年生河原和香さんの作文です。

2025年3月19日のさん太タイムスに掲載されました。

すだのれつな1いうさは不子なし子けは、でな大と不な見なのS  
かはどもい6とりく、か供のま供れ、も、るきつかいてぜは、Nわ  
ら大、反全いい末思じいなど、まいたきんデからスんには、反たし  
対部とう満をよど動にわす。んさんらリです。める子見人対しは、  
対でや思ほはす。ばるに、なっは、しんの  
ま。るけりえいほ、どては、の

S N S の き ま り  
(岡山市 河原和香 小4)

第34回吉備路文学館「少年少女の詩」コンクールに応募した作品のうち1年生の三宅祥太郎さんが入選、伊丹希胡さんが佳作に入賞しました。作品を紹介します。

むしさがし  
みやけ しょうたろう  
むしさがしにいったよ  
ありとばったがいたよ  
たのしかった  
ありはくろかったです  
てつぼうくらいたかく  
ばったはとびました  
きにじゅえきがついていました  
カブトムシもこないかな  
よるになったらくるかな？  
しのびこみたいな

いるかのダンス  
いたみ きこ

いるかのダンスをしたよ  
いるかは

はねたり もぐったり

とまったり まわったりして

なんかいきものっておもしろいな

わたしはいるかになってみた

はねたり もぐったり

とまったり まわったりして

たのしかった

いるかといっしょに やりたいな

はねたり もぐったり

とまったり まわったり

うれしいな

6年生は、総合的な学習の時間に取り組んだ平和学習のまとめを新聞で表現しました。濱井悠凜さん、松井胡美さん、横田彩希さんの作成した新聞は、「文学創造都市おかやま」のホームページに掲載されています。また、6年生の新聞を始め、3～5年生の総合的な学習の時間のまとめは、足守公民館で3月31日まで展示されています。ぜひ、ご覧ください。

「いつも見守ってくださりありがとうございます」  
「あいさつをしてくれてうれしいです」  
感謝の手紙 3月6日

今年度最後の地区別児童会の後、スクールバスの運転手さんにお礼の手紙を渡しました。また、各地区で登下校の見守りや付き添いをしてくださっている地域の皆さんにも児童が手紙で感謝の気持ちを伝えました。運転手さんも地域の皆さんも、安全確保だけでなく子どもたちの顔と名前を覚えてあいさつなどの声かけもしてくださり、本当にありがたいです。子どもたちにその温かい気持ちが伝わっています。引き続きよろしくお願いします。



## 大海小学校との交流 3年生：3月11日

3年生は、石川県かほく市立大海小学校と交流しています。最後の交流は、リモートでお互いの総合的な学習の時間で学んだことを発表し、感想を交流しました。



発表内容

【大海小】

- 大海みそを作ろう（大豆栽培から）
- 紋平柿はどうしておいしいのか

【蛍明小】

- 自然チーム（ホタル・足守川の生き物）
- 農家チーム（足守メロン・間倉ごぼう・ブプレウラム）
- 緑の地球を守ろうプロジェクト

本校3年生は、蛍明学区の魅力を一生懸命伝えました。大海小の友達は、地域に紋平柿のあることを誇りに思っていることがよく伝わってきました。両校で似ている活動があることもわかりました。児童は、他都市の3年生と接して視野が広がり、大いに刺激を受けた様子でした。